

標津町国民健康保険標津病院経営改革プラン（H21年5月）の点検・評価

数値目標の比較

（平成25年3月公表）

項 目		H21			H22			H23			点 検	評 価
		計画	実績	増減	計画	実績	増減	計画	実績	増減		
経 常 収 支	千円	-16,717	-32,278	-15,561	-8,599	-34,899	-26,300	2,257	-27,456	-29,713	医業収益の増加や一般会計からの繰入金の増加により、比率は上昇しているものの医業費用の増加により計画を大幅に下回っている。	収入の確保に努めるとともに、経費の節減により、経常収支比率の改善に努めること。
	比率	97.4%	95.1%	-2.3%	98.7%	94.7%	-4.0%	100.3%	96.0%	-4.3%		
職 員 給 与 費	千円	364,000	380,580	16,580	364,500	386,033	21,533	365,000	403,556	38,556	医業収益が増加傾向にあるが、職員給与費の増加が大きく、比率が年々増加している。	適正な人事管理に努め、人件費の総額を抑制を図ること。
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益	比率	84.9%	96.3%	11.4%	82.7%	97.7%	15.0%	80.5%	99.0%	18.5%		
医 業 収 支	千円	-185,583	-235,836	-50,253	-178,457	-244,137	-65,680	-168,626	-256,648	-88,022	医業収益が増加しているが、医業費用の増加が大きく、比率が悪化している。	収入の確保に努めるとともに、経費の節減により、経常収支比率の改善を図ること。
	比率	69.8%	62.6%	-7.2%	71.2%	61.8%	-9.4%	72.9%	61.4%	-11.5%		
病 床 利 用 率		81.0%	78.7%	-2.3%	82.0%	71.3%	-10.7%	83.0%	79.7%	-3.3%	平成22年度において、利用率が低迷したが、平成23年度には平成21年度よりも上回っている。	病床利用率は病院経営の根幹をなすものであり、入院患者の確保に努めること。
患 者 数	入院	10,348	10,055	-293	10,476	9,108	-1,368	10,603	10,229	-374	患者数の増に努めていたが、平成22年度には患者数が大幅に落ち込んでいる。しかし、平成23年度は、計画には及ばないが、平成21年度を上回っている。	引き続き患者数の増に努めること。
	外来	28,500	27,782	-718	29,000	27,156	-1,844	29,500	27,651	-1,849		
	計	38,848	37,837	-1,011	39,476	36,264	-3,212	40,103	37,880	-2,223		
一 日 平 均 患 者 数	入院	28.4	27.5	-0.9	28.7	25.0	-3.7	29.0	27.9	-1.1	各年度ともに計画を下回っているが、平成22年度の落ち込みについては、平成23年度で増加してきている。	引き続き計画の達成に向け努力すること。
	外来	116.8	114.8	-2.0	118.8	111.8	-7.0	120.9	113.3	-7.6		
患 者 1 人 1 日 平 均 収 入	入院	21,739	19,940	-1,799	22,295	20,657	-1,638	22,611	18,869	-3,742	外来は、平成22年度より計画を上回っているものの、入院は、計画を大幅に下回っている。	入院収入の確保に努めるとともに、計画の達成に向け努力すること。
	外来	5,907	5,769	-138	5,910	6,048	138	6,000	6,131	131		